

「国土交通省公共事業コスト構造改革プログラム」

【施策名：（２）計画・設計から管理までの各段階における最適化 【２】新技術の採用】

雪崩予防柵工にスノーネットを採用

工事名：平成19年度奈良俣ダム管理用道路雪崩対策工事

概要：（従来）
鋼材組合せによる雪崩予防柵 ⇒ （新）
スノーネット工による雪崩予防柵

効果 ○基礎工の施工を伴わないため斜面に負担をかけない。
○部材は軽量であるので斜面上の施工性が容易。
○基礎工の費用の縮減、施工性の向上による施工費の縮減。
■工事費を109百万円から75百万円に縮減。
（縮減額 34百万円、縮減率 約31%）

従来工法

雪崩予防柵



コンクリート基礎＋鋼材組合

コンクリート基礎を斜面に構築し鋼材を組合せるため施工性が悪く、材料費、施工費が高い。

縮減工法

スノーネット



支柱＋ワイヤーネット

ワイヤーアンカーで支柱を留める構造でコンクリート基礎を必要とせず、施工効率もよく、経済的。